



衣浦港西防波堤を粘り強くするための被覆ブロック製作工事始まる

～地震・津波に対して粘り強い防波堤へ～

1. 概要

昭和34年(1959年)9月に来襲した台風21号(伊勢湾台風)により、衣浦港及び背後地域で高潮による甚大な被害が発生したため、高潮対策として昭和38年(1963年)に衣浦港西防波堤工事が着工され、昭和43年(1968年)に完成しました。

しかし、完成から約45年が経過しており、老朽化と大規模地震発生時の沈下及び来襲する津波に対する防護効果の低下が懸念されるため、高潮防波堤を改良することになり、防護効果を高める被覆ブロック製作工事を開始します。

今回製作する被覆ブロック(ピーハイブ)

サイズ:2.455 m×1.666m

※被覆ブロックとは

防波堤などの構造物の土台部分が波浪によって移動、流出することを防止するために、その表面に並べるもの。

防波堤の場合は先端部分が一番波の影響を受けやすく、今回製作する被覆ブロックは防波堤の先端部分に並べる予定になっている。



※技研興業HPより

2. 施工箇所

愛知県半田市新浜町地内(南ふ頭4号野積場)





3. 工事期間

平成 26 年 10 月 17 日～平成 27 年 3 月 20 日

4. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、半田記者クラブ、碧南記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

5. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 企画調整課 田村(たむら)

Tel 0532-32-3252 Fax 0532-32-5049